

組合員さんが選んだ
子どもと読みたいオススメ図書

子どもに読ませたい、大人が読んでも楽しいオススメの図書を組合員さんに聞きました。

乳幼児向け



いないないばあそび
作：きむらゆういち
出版社：偕成社



仕掛け絵本になっていて、一歳でまだ話の内容が分からない娘ですが、自分でページをめくっては仕掛けに喜んでます。
(北方町 くみグミさん)



くまくまくんはしょうぼうし
作：ベンジー・デイヴィス
出版社：BL出版

くるくる車がまわるページが好きで、小さい動物達を探してたくさん遊びました！赤ちゃんのころ、ぶーちゃん(フタ)が大好きで…懐かしいです。
(山県市 ももさん)



いろいろバス
作・絵：ツペラ ツペラ (tupera tupera)
出版社：大日本図書

いろんな色のいろんなお客さんが出てきて楽しいですよ。乗り物好きにも、そうじゃない子にもオススメ。
(岐阜市 べるりさん)



さつまのおいも
文：中川ひろたか
絵：村上康成
出版社：童心社



さつまいもも、地面の下で人間と同じように生きている描写がユニーク。最後には思わず笑ってしまうオチがあつて子どもも大爆笑です。
(羽島市 きらきらりんさん)



だるまちゃんどてんぐちゃん
作・絵：加古里子
出版社：福音館書店

絵もかわいいし話も良い。てんぐちゃんのを何でも欲しがるだるまちゃんが、最終的には自分で「いいもの見つけた」のが子育ての上で参考になった…のかな？
(大垣市 Yukkoさん)

小学生向け

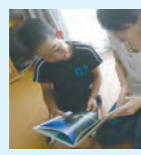


ルドルフとイッパイアッテナ
著：斉藤洋(原作)
出版社：講談社

他のシリーズも子どもと一緒に全部借りて読みました。子どもが猫好きなので、本にのめり込み、親子で夢になれました。
(岐阜市 教頭先生さん)



ともだちや
作：内田麟太郎
絵：降矢なな
出版社：偕成社



シリーズのどの作品も考えさせられる場面があり、友達について考えるいい機会。子どもだけでなく大人にもぜひ読んでほしいシリーズです。
(関市 M&Yママさん)



ちいさいおうち
文・絵：バージニア・リー・パートン
訳：石井桃子
出版社：岩波書店

広い世代に読んでいただける本です。環境破壊について、色々と考えさせられます。
(多治見市 パラさん)



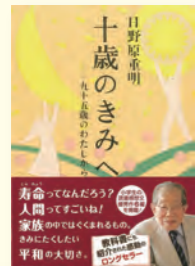
あなたがだいすき
作：鈴木まもる
出版社：ポプラ社

どんなあなたでも、どんなことをしていても、お母さんにとって我が子は一番好きな存在であることを、あたたかく伝えられる本だと思います。
(白川町 Towaさん)



数え方の辞典
著：飯田朝子
監：町田健
出版社：小学館

箸は1膳、たらこは1腹、など、数え方のポイントも書いてあり知らないことだらけで「へー」の連続でした。
(美濃市 るるさん)



十歳のきみへ 九十五歳のわたしから
著：日野原重明
出版社：富山房インターナショナル

10歳ではちょっと難しい内容ですが、言葉は平易でわかりやすいです。プレゼントした時に自分も読んだのですが、大人が読んでも心が洗われる想いがありました。
(多治見市 ままりんさん)

中学生向け



赤毛のアン
著：ルーシー・モード・モンゴメリ
訳：村岡花子
出版社：新潮社

特に女の子には一度読んでほしい本です。アンの人生に立ち向かうたくましさや優しさ、賢さからたくさんことが学べると思います。
(高山市 なのさん)



カラフル
著：森絵都
出版社：文春文庫

生前の罪をつぐなうため自殺を図った「小林真」の体に「ホームステイ」することになった「ぼく」。ファンタジーだけど非常にリアルで、色々な社会問題も書かれています。若い子にぜひ読んでほしい！
(本巣市 もちごめさん)

高校生〜大学生向け



アントキノイノチ
著：さだまさし
出版社名：幻冬舎

生きていく上で、不条理なこと、絶望の淵に立たされることもある。教訓ではなく、共感出来るところを持ちたいと思いました。
(可児市 ゴン太さん)



風の中のマリア
著：百田尚樹
出版社：講談社

オオスズメバチのマリアと登場する他の虫たちが擬人化されていて、30日間の物語と思えない壮大さを感じます。懸命な生き方に読み終わった後何かが残る一冊です。
(各務原市 とも母さん)



生きがいの創造
著：飯田史彦
出版社：PHP研究所

これを読むと困難に直面しても、必ず解決できるはずだと勇気がわいてきます。そして自分だけでなく他人の生き方も大切にしたいという気持ちになります。
(各務原市 とまおにさん)

